

(専門科目)

科 目 名	特別講究（教育臨床心理学） 英語名：Special Seminar on Educational Psychology	必修/選 択	選択必修
		単位数	2単位
		担当教員	芳川玲子
【授業概要】 本科目では、学校教育の中で発生する諸問題を臨床心理学の視点を取り入れ、教育心理学と臨床心理学の二つの視点を身につけることを目的とする。そのため、授業の第Ⅰ段階では、教育現場の問題について明らかにする。さらに、第Ⅱ段階では、臨床心理学の視点からメンタルヘルスについて学ぶ。第Ⅲ段階では、教育学及び臨床心理学の中から一つトピックスを取り上げて、深く学ぶことを試みる、最終的な総括として、自身の現場に立ち返り、課題の解決と展望を検討し、それを博士論文に生かす。			
【キーワード】 教育に関する諸問題、学校メンタルヘルス、トランスジェンダーの心理学			
【授業の到達目標】 1 教育現場の状況（生徒の特徴、教育、組織、取り巻く環境）について客観的に理解できる 2 各校種のメンタルヘルスの課題を臨床心理学の視点からの理解ができる 3 自身の理解に基づき、それを研究テーマに結びつきながら、論文の中で展開できる			
【教育の方法】 スクーリングの実施【あり】 スクーリングのメディア受講【可】			
【授業計画】			
回	内 容		
1	ガイダンス：本科目の目的・学修内容・到達目標【SC】		
2	学修Ⅰ－1：特別支援教育・問題行動の視点		
3	学修Ⅰ－2：不登校・いじめの視点		
4	学修Ⅰ－3：虐待・放課後の問題		
5	学修Ⅰ－4：地域連携・小中移行・高校移行の問題		
6	学修Ⅰ－5：自身の教育現場についての包括的な検討【SC】		
7	学修Ⅱ－1：トランスジェンダーの心理学①		
8	学修Ⅱ－2：トランスジェンダーの心理学②		
9	学修Ⅱ－3：トランスジェンダーの心理学③		
10	学修Ⅱ－4：トランスジェンダーの心理学④		
11	学修Ⅱ－5：日本におけるジェンダーの心理的課題を総括する【SC】		
12	学修Ⅲ－1：性の多様性と人権		
13	学修Ⅲ－2：性の多様性をめぐる諸外国の教育		
14	学修Ⅲ－3：教職員の意識を変える研修		
15	学修内容の総括と学生自身の現場の展望の検討【SC】		
試験			

【履修にあたっての準備・履修上の注意点】

初回のスクーリング受講後は、指定のテキストを読み、教員が提示した課題を行っていく。詳細は初回のスクーリング時に相談と情報提供を行う。

【スクーリングでの学修内容】

- ・スクーリングは学生の状況に合わせて4回程度実施し、合計6時間以上をめどに行う。
- ・スクーリングは、学修の初期に、授業の目的や概要を知り、この科目を通して何をめざすかを学生と教員の相互で確認する。
- ・学修中期の2回目のスクーリングは、学生自身の教育現場での情報の共有を通じて、学生自身が抱えている課題や問題意識を確認することを目的とする。そのため、スクーリング前に指摘テキストの学修と、自身の教育現場のまとめのミニレポートを作成し、スクーリングでの双方向の議論を踏まえて、事後に、ミニレポートの改定版をレポートとしてまとめる（レポート1）。
- ・学修後半の第3回目のスクーリングでは、学校課題を臨床心理学の視点で解析できるかについて確認するためのものである。
- ・第3回目のスクーリング後から、最後のスクーリングの前までに、自身の研究テーマと関連したレポート（レポート2）を作成する。
- ・学修最後のスクーリングでは、事前に提出されたレポートを元に相互討議を行う。このスクーリングでは、1年次であればテーマ設定にこの科目の学修がどのように行かせるか、2年次であれば博士論文にこの科目で得た知見がどのように行かせるかを検討する。
- ・学生はスクーリングの後に、科目修得試験を受験する。この試験はレポート1・2を総合し、自身が教育現場での状況分析を踏まえ、学修内で学んだ課題の一つに対して理解と解決対策についての考えをまとめてもらう。

【評価方法】

可否については、SCでの議論（30%）、レポート2本（30%）、科目修得試験（40%）で評価する。

【教科書】

- ・加藤弘通編著（2022）『教育問題の心理学 何のための研究か？（問いからはじまる心理学）』福村出版 ISBN-13：978-4571206054
- ・佐々木掌子（2017）『トランスジェンダーの心理学——多様な性同一性の発達メカニズムと形成』晃洋書房 ISBN-13：978-4771028456
- ・間野豊著（2020）『多様な性の視点でつくる学校教育—セクシュアリティによる差別をなくすための学びへ』松籟社 ISBN-13：978-4879843975

ただし、学生の状況に応じて、適宜にテキストを変更、追加指定することもある。履修者はテキストを購入前に教員に確認すること。

【参考図書】

- ・伊藤美奈子（2022）『不登校の理解と支援のためのハンドブック：多様な学びの場を保障するために』ミネルヴァ書房
- ・岩滝大樹著（2022）『教育臨床と心理学-第2版：支える・学ぶ・教えるを科学する』学文社
- ・藤澤伸介編（2017）『探究！教育心理学の世界』新曜社

【教員メッセージ】

本科目は、学校によく出会うさまざまな問題をいかに臨床心理学的な視点を入れてみるかという授業です。自身の考え方の幅を広げ、多角的視点を身につける事ができます。多角的な視点はやがて博士論文をまとめる際に、考察を深めるのに役に立ちます。

【備考】

特記なし